

令和7年度 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト
モビリティ人材育成事業ワークショップ

はじめに

プログラム趣旨

本プログラムは、行政・交通事業者・まちづくり関連団体のみなさま、さらには、本町の将来を担う学生を対象に、地域公共交通や買い物サービスなど、データを活用した持続可能な交通経営、施策立案ができる人材を育成していくことを目的として実施するワークショップです。

本日が、みなさまにとって「持続可能な買い物サービス」について考えるきっかけになれば幸いです。

テーマ

開催回	内容	開催時期	参加者
第1回 新上五島町の観光交通	主要産業である観光振興につながる 新たなモビリティ・サービスについて考える	2025/10/23(木)	地元事業者 +高校生
第2回 新上五島町の 買い物サービス	新上五島町の買い物弱者に向けた 持続可能な買い物サービスについて考える	2025/11/26(水)	地元事業者
第3回 未定	未定	12月予定	地元事業者 +高校生

はじめに

本日の開催にあたって

本日はお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。

新上五島町では、高齢化に伴う買い物弱者の増加が大きな課題となっており、
新上五島町における持続可能な買い物サービスを構築することが、
町の存続のためには不可欠だと考えています。

そしてそれはどこか1者がすべてを担うのではなく、町内の事業者の皆様のご協力が必要だと思っています。

本日の会が町内における買い物課題を共通認識とし、
新上五島町における持続可能な買い物サービスを考え始めるきっかけとなることを願っております。

新上五島町長 石田 信明

第2回：新上五島町の買い物サービス

町内の買い物弱者に向けた持続可能な買い物サービスについて考える





- 1) データ活用の重要性について
- 2) データで見る新上五島町の買い物課題
- 3) 新上五島町の買い物サービスの現状
- 4) 買い物サービスの先行事例共有
- 5) 新上五島町の買い物サービスのあるべき姿についてディスカッション

13:30～14:10

14:10～14:20（休憩：10分）

14:20～15:00



- 1) データ活用の重要性について
- 2) データで見る新上五島町の買い物課題
- 3) 新上五島町の買い物サービスの現状
- 4) 買い物サービスの先行事例共有
- 5) 新上五島町の買い物サービスのあるべき姿についてディスカッション

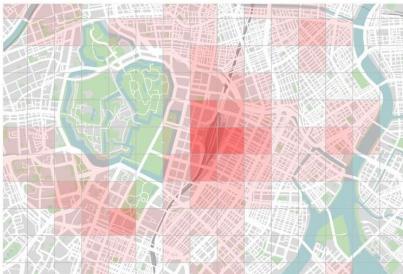
デジタル技術でできること



- 交通系ICカード / 携帯電話 / クレジットカード / マイナンバーカード など、身の回りの情報はデータ化されている。
- 国や自治体は、これらの「ビックデータ」を活用し、「人の動き」を数値化、地域課題の把握や課題解決の検討を実施

乗用車のプローブデータ × au人口動態データ セット

au人口動態データ



乗用車のプローブデータ



auスマートフォンユーザー

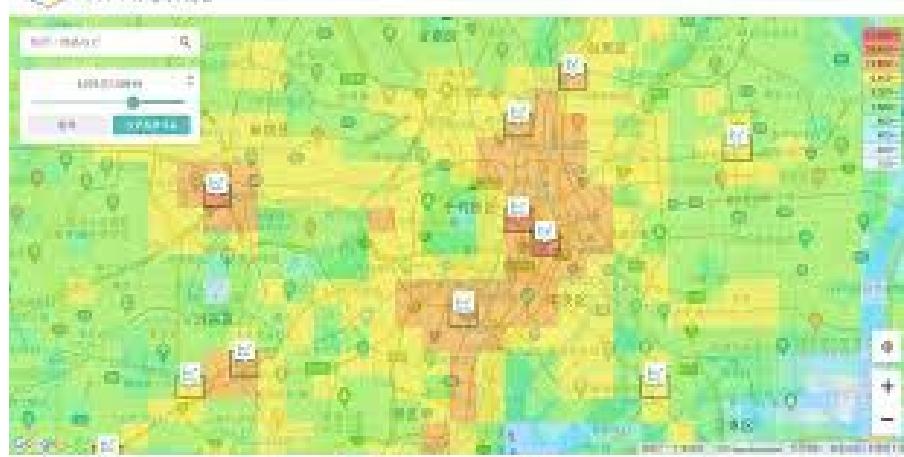
▲携帯×交通データを組み合わせたサービス
(時間帯別にどこにどのくらい人がいるのか?)



モバイル空間統計®



モバイル空間統計



▲携帯データを活用した人流の可視化サービス
(時間帯別にどこにどのくらい人がいるのか?)

データを用いてできること



- データの活用で、「実態把握・予測」→「対策」→「評価」が可能
- データを分析することで、まちの今・未来の健康状態が可視化できる

今回のWSはここ

STEP1

数字から現状の実態を正しく把握・予測する

STEP2

数字から見えた現状の課題に対する対策を検討する

STEP3

対策によって得られた実績数字をもとに評価する



- 1) データ活用の重要性について
- 2) データで見る新上五島町の買い物課題
- 3) 新上五島町の買い物サービスの現状
- 4) 買い物サービスの先行事例共有
- 5) 新上五島町の買い物サービスのあるべき姿についてディスカッション



「買い物」切り口でどんな課題があるか、新上五島町の「実態」を見てみましょう

POINT①

人口減少

・

高齢化

POINT②

施設分布

・

買い物困難エリア

POINT③

“買い物”
が
もたらす効果



「買い物」切り口でどんな課題があるか、新上五島町の「実態」を見てみましょう

POINT①

人口減少

・

高齢化

5年で2000人減

5年後は3000人減

ペース加速

POINT②

施設分布

・

買い物困難エリア

POINT③

“買い物”
が

もたらす効果

人口推移



- 人口減少が進み、20年後(R27)には1万人未満・高齢化率60%超の見通し。
- 全5地区のうち4地区で、過去5年間に10%以上の人口減少。

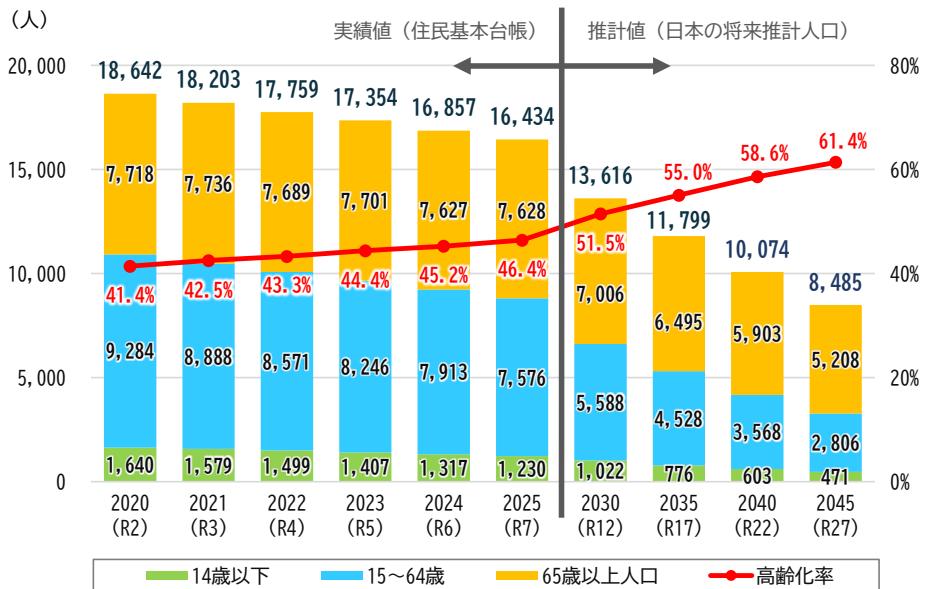


図 現況・将来人口（住民基本台帳・社人研）

※実績値：各年4月時点の実績

推計値：R2年国調結果をもとにR5年に推計されたもの

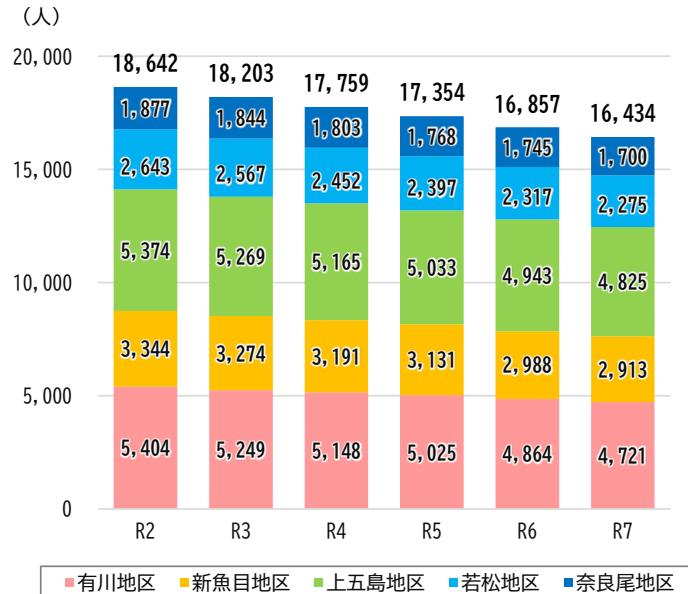
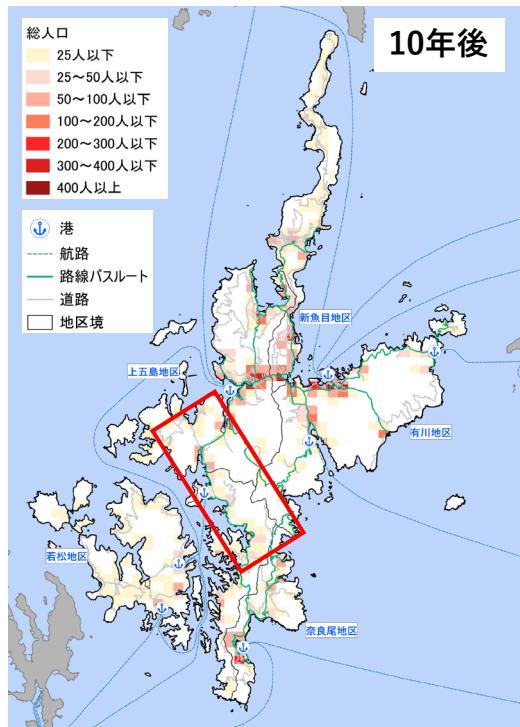
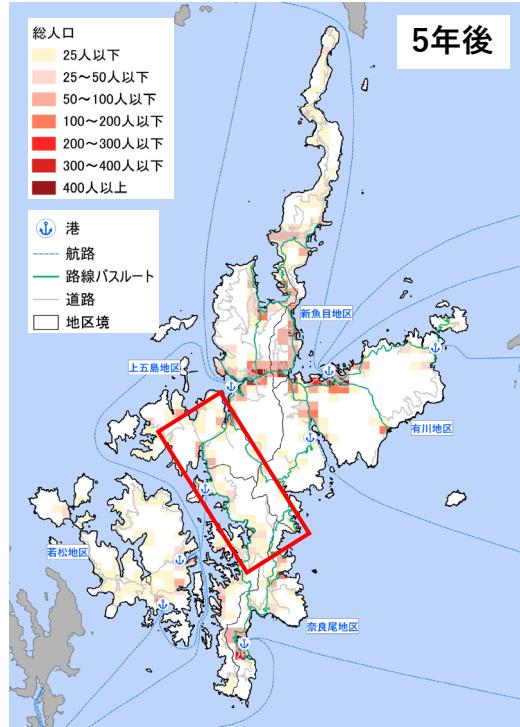
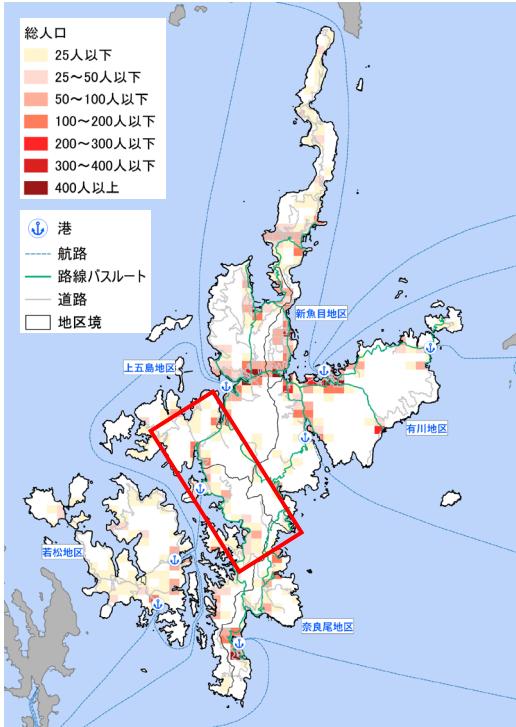


図 地区別人口（住民基本台帳）

人口分布



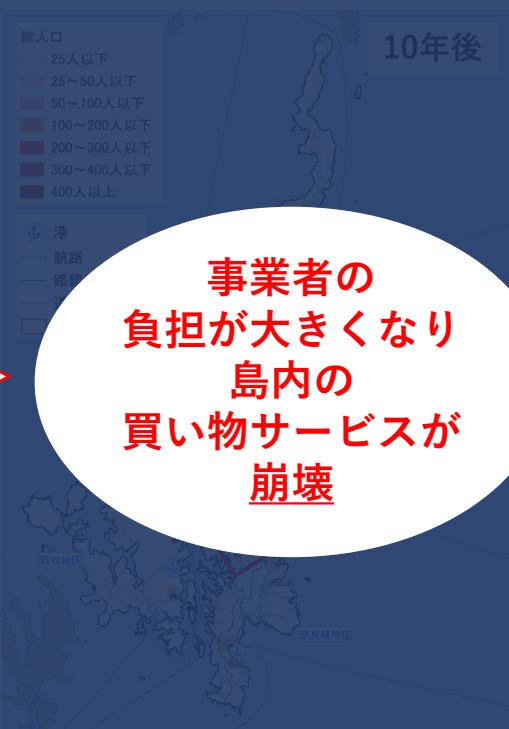
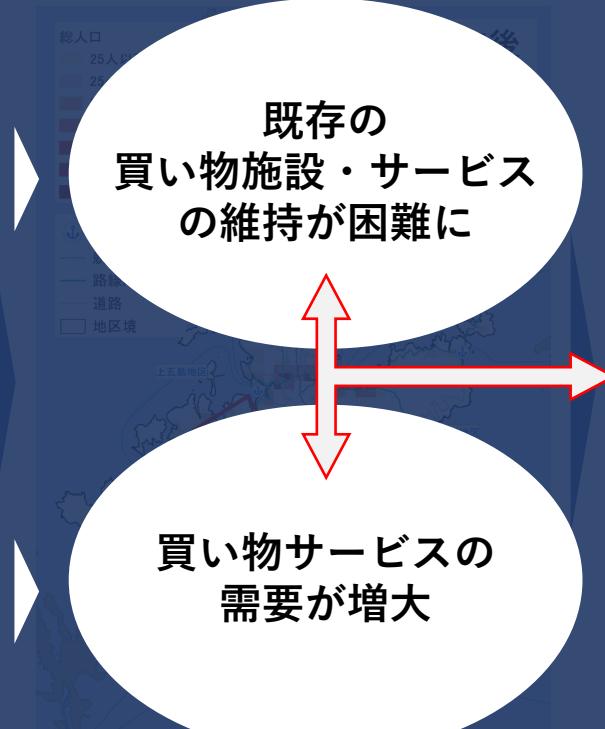
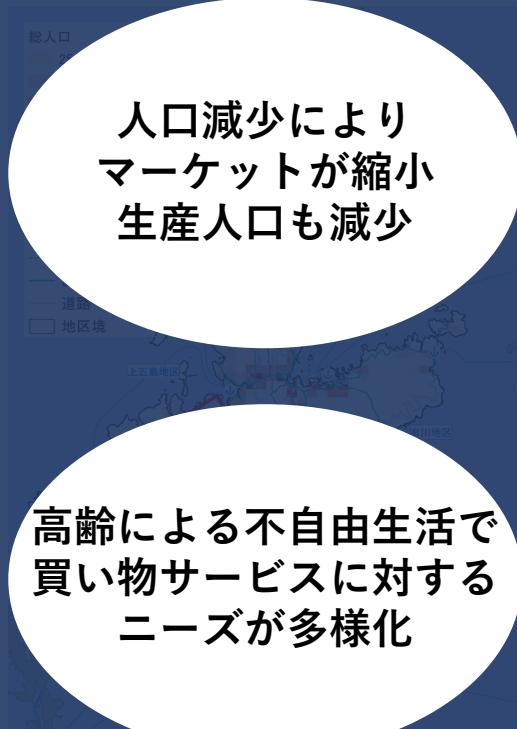
- 数年前より人口25人以下の区画が多い若松では、路線バスが廃止に
- 今後10年で人口が50人以下となる区画が増える見込み





人口分布

- 数年前より人口25人以下の区画が高齢化とともに路線バスが廃止に
- 今後10年で人口が50人以下となる区画が増える見込み



高齢による不自由生活で
買い物サービスに対する
ニーズが多様化



「買い物」切り口でどんな課題があるか、新上五島町の「実態」を見てみましょう

POINT①

人口減少
・
高齢化

POINT②

施設分布
・
買い物困難エリア

町内のほぼ全域が
買い物困難エリアに

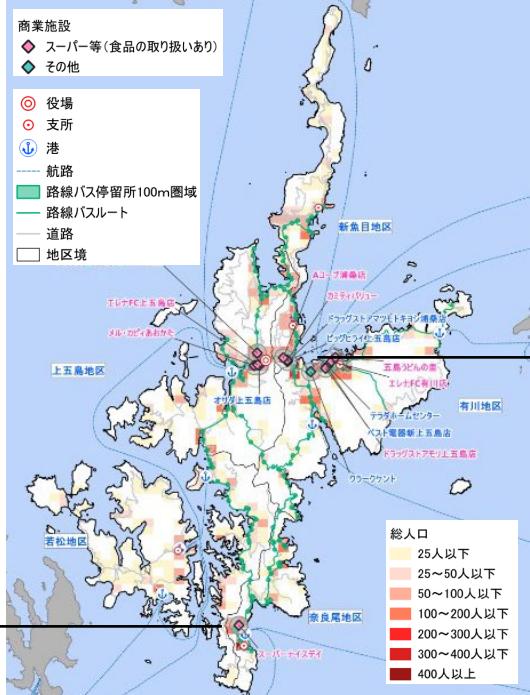
POINT③

“買い物困難”
が
もたらすこと

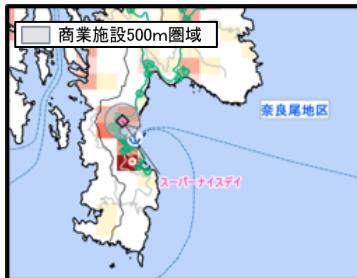


施設分布

- 町内の主要商業施設は15店舗あり、そのほとんどが青方～有川付近に集中。
- 商業施設から500m圏外を買い物困難エリアと定義し、困難エリアの人口を算出すると、約14,000人にのぼり、島民の約8割が買い物困難エリアに住んでいることになる。



	人口 (人)
R2年の総人口（国調）	17,503
商業施設から500m圏内の人団	3,805
①-②=買い物困難エリアの人口	13,698





「買い物」切り口でどんな課題があるか、新上五島町の「実態」を見てみましょう

POINT①

人口減少
・
高齢化

POINT②

施設分布
・
買い物困難エリア

POINT③

“買い物”
が
もたらす効果

「買い物」には
様々な効果が

「買い物」がもたらす副次効果



「買い物」には物を得るだけではなく、様々なメリットが存在

買い物

買い物の副次効果

- ・気分転換
- ・地域の変化を知る
- ・会話が生まれる
- ・選択する喜び
- ・趣味娯楽
- ・目的外の買い物

個人の便益

- ・利用増加
- ・地域コミュニティの醸成
- ・心の健康
- ・身体の健康
- ・生活満足度の向上
- ・生きがい
- ・外出意欲の向上

社会的便益

- ・地域公共交通の維持
- ・消費による経済効果
- ・安全な社会の実現
- ・共助の社会の実現
- ・閉じこもりの防止
- ・寝たきりの防止
- ・医療費の削減

参考：秋田大学大学院「買い物における副次的な価値が高齢者の生きがいにもたらす効果に関する研究」



- 1) データ活用の重要性について
- 2) データで見る新上五島町の買い物課題
- 3) 新上五島町の買い物サービスの現状
- 4) 買い物サービスの先行事例共有
- 5) 新上五島町の買い物サービスのあるべき姿についてディスカッション

新上五島町の買い物サービスの現状

日本における買い物弱者支援事業は大きく下記に分類

買い物の楽しみを
提供するサービス

近くにお店をつくる
サービス

- 移動販売
- 買い物場の開設

買い物の不便さを
解消するサービス

家まで商品を届ける
サービス

- 買い物代行
- 宅配・ネットスーパー

先進技術を活用した
サービス

- ドローン配送
- 遠隔カメラ買い物支援
- ロボット買い物支援

新上五島町の買い物サービスの現状

新上五島町においても、
主要な領域をカバーする買い物弱者向けのサービスが複数存在

買い物の楽しみを
提供するサービス

買い物の不便さを
解消するサービス

近くにお店をつくる
サービス

家から出かけやすくする
サービス

家まで商品を届ける
サービス

先進技術を活用した
サービス

■移動販売
■買い物場の開設

■移動手段の提供

新上五島町の 買い物サービスが カバーする領域

■買い物代行
■宅配・ネットスーパー

■ドローン配送
■遠隔カメラ買い物支援
■ロボット買い物支援

買い物サービスを利用する地域住民の声

地域住民からは「助かっている」という声。
一部、事業者に対してリクエストの声も。

【移動販売について】

- 移動販売がないと本当に困る。
せっかくここまで来てくれているし、
これからも継続してもらえるようになるべく利用するようになっている。
- 野菜などは見て選びたいので移動販売はうれしい。
- 欲しいものをリクエストすると翌週持ってきてくれるので助かる。

【宅配サービスについて】

- 重いものなどは宅配サービスが便利。
- 日々の食材などは移動販売、
買い物溜めておけるものは宅配サービスなど、使い分けている

【副次効果について】

- 移動販売の車が来たらみんな集まるので、
滅多に会わない人に会えることもあるってうれしい。
- 人としゃべることによって頭の体操になる。

【その他】

- 日が近いと買えるものがないので、
事業者ごとの曜日をバラしてほしい。
- 移動販売は前に売れると品物が残っていない。
- 小さくて日持ちするものがあると嬉しい。
- 冷凍食品があると嬉しい。
- 夏はアイスクリームが食べたい。

買い物サービス事業者からの声

“地域のために”という想いはあるも、
事業としては利益が出ないと継続ができず、持続可能性には不安も残る。
島内の高齢化が進むも、利用者は減少傾向に。

〈維持の課題〉

- 地域のためにという想いはあるが、
人件費や物価、ガソリン代の高騰等で、維持費が大変。
- 車の故障への対応などにも苦労がある。
- 狹い道も多いので、軽自動車が望ましいが、積載量が少ない。

〈認知の課題〉

- 曜日を変更した際、周知に苦労がある。
- サービスを知らない人も多く、認知の獲得は課題。
- 高齢者の死去などで利用者は減っている。

〈その他〉

- 事業者間の連携や、集まる機会がない

新上五島町の買い物サービスのあるべき姿について

本日のゴール

新上五島町の買い物サービスのあるべき姿について考える

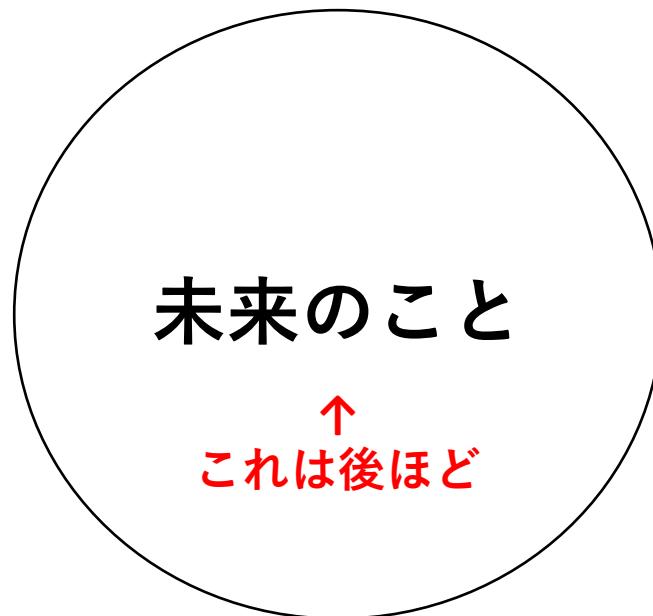
未来のこと

困りごと

新上五島町の買い物サービスのあるべき姿について

本日のゴール

新上五島町の買い物サービスのあるべき姿について考える



**新上五島町における
「買い物課題」を共通認識にしたい**

■今のお困りごとや、こうだったらいいのに...など、
事業者の皆さんのがいま抱えている課題を教えてください！

視点

- ①皆さんから見て、お客様が困っていること 〈住民視点〉
- ②皆さんができることに対して困っていること 〈事業者視点〉

ワークシート

①皆さんから見て、お客様が困っていること 〈住民視点〉

②皆さんができることに対して困っていること 〈事業者視点〉

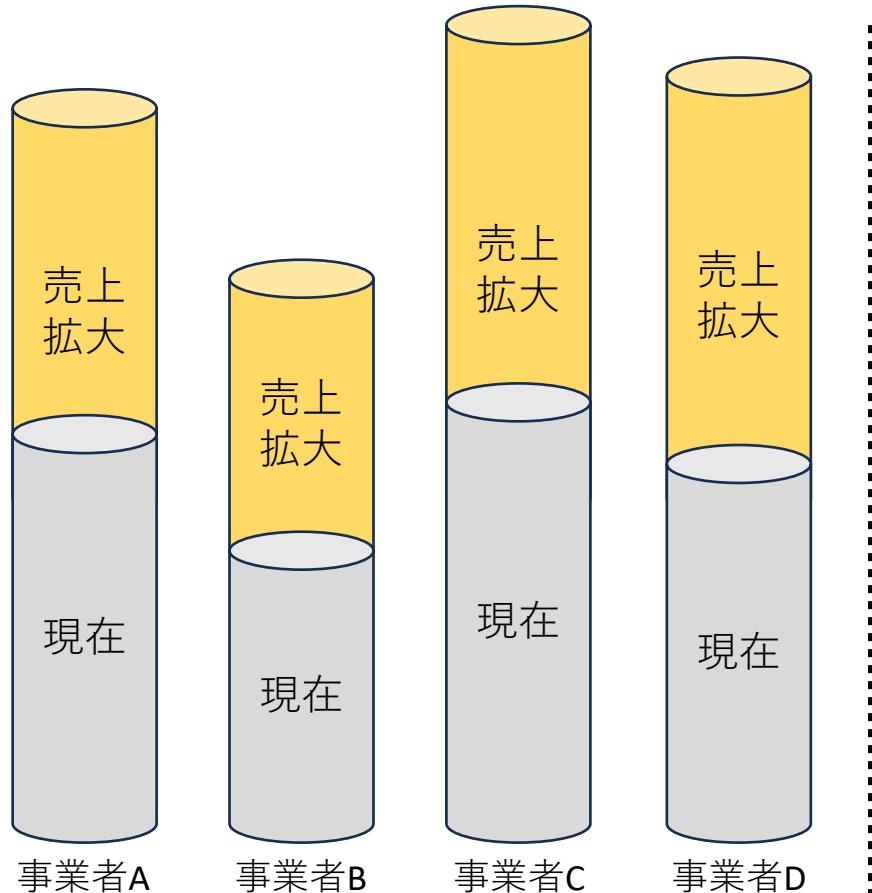


- 1) データ活用の重要性について
- 2) データで見る新上五島町の買い物課題
- 3) 新上五島町の買い物サービスの現状
- 4) 買い物サービスの先行事例共有
- 5) 新上五島町の買い物サービスのあるべき姿についてディスカッション



先行事例の共有の前に…

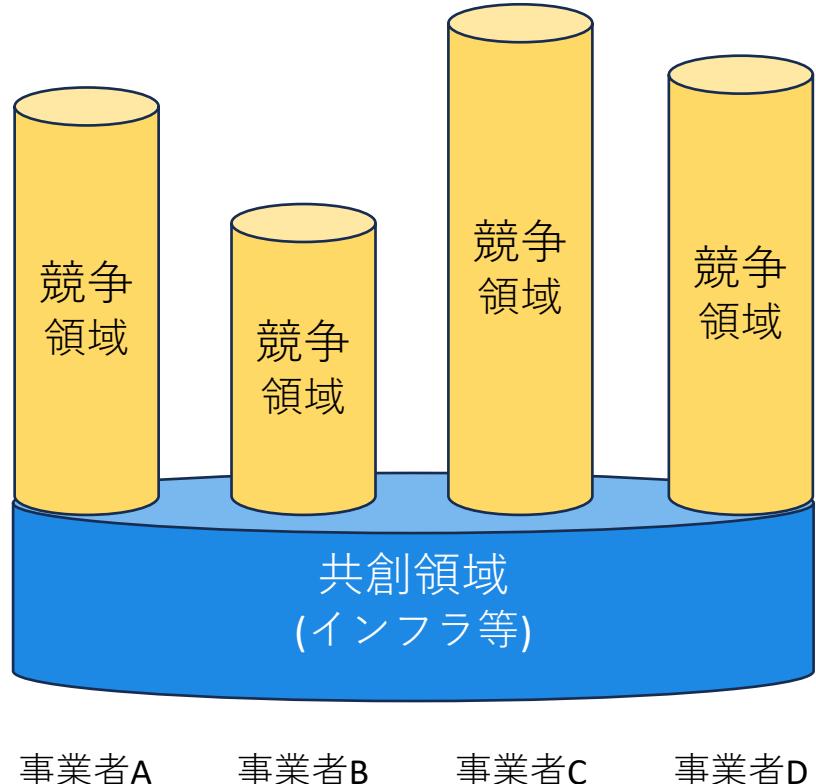
新上五島町の買い物サービスの未来



未来理想①

各事業者がそれぞれ単独で
買い物サービス・他事業を拡大し、
持続可能な買い物サービスを提供する

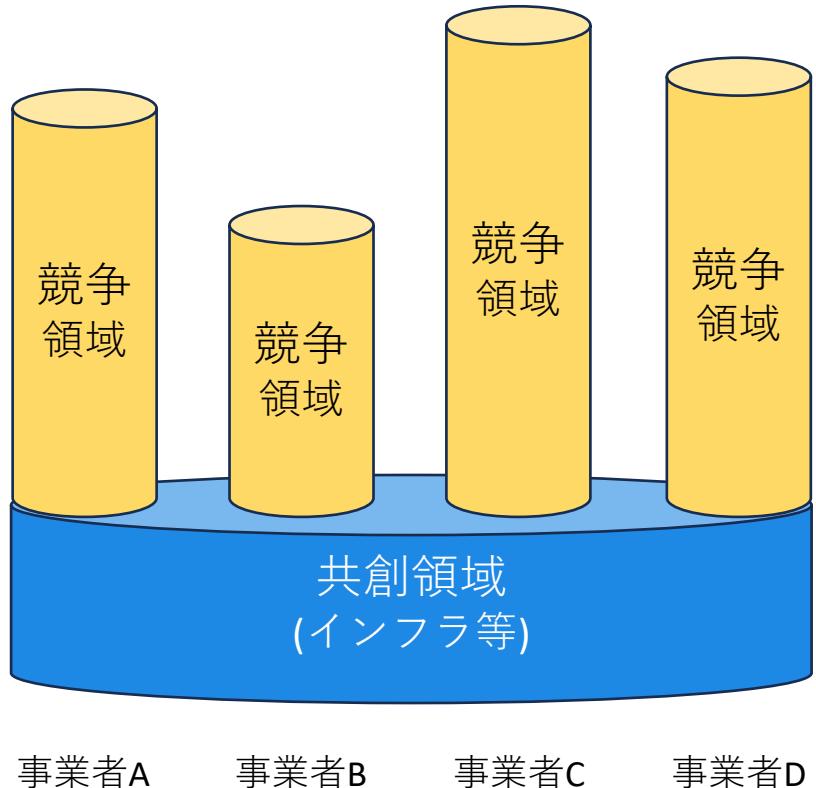
新上五島町の買い物サービスの未来



未来理想②

多くの事業者に共通する共創領域は
事業者が連携し負担を分散、
事業者の負担を下げ、
得られたリソースを競争領域にあて、
持続可能な買い物サービスを提供する。

新上五島町の買い物サービスの未来



未来理想②

人口減少・高齢化が進む新上五島町
事業者が連携し負担を分散で
事業者の負担を下げ
得られるより多くの資源を競争領域において、
持続可能な買い物サービスを提供する。

こちらの“共創モデル”が
目指すべき形になる可能性が高い

本日ご紹介する先行事例

①

「共創モデル」事例

②

買い物の楽しさを提供する買い物サービス 事例

③

先進技術活用 事例

本日ご紹介する先行事例

①

「共創モデル」事例

②

買い物の楽しさを提供する買い物サービス 事例

③

先進技術活用 事例

共創モデル | 奈良市買い物支援ネットワーク(奈良市)



「奈良市買い物支援ネットワーク」による持続的な買い物サービス (奈良県奈良市)

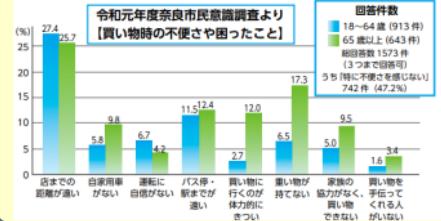


【地域の概況と課題】

- 奈良市は、平成17年に旧奈良市・月ヶ瀬村・都祁村が合併し誕生した人口約34.9万人の県庁所在地
- 市内では、特に、山間部や昭和に宅地開発された丘陵部で高齢化が進展し、坂が多いといった自然条件ともあいまって買い物の課題が顕在化
- 【対応方向と特徴】
 - 奈良市は、移動販売を行う民間事業者、市社会福祉協議会、地域包括支援センター等とともに、**令和2年9月に、「奈良市買い物支援ネットワーク」を立ち上げ、日常の買い物に困っている方への支援を実施**
 - 同ネットワークは、以下により構成
 - ① 地域密着班：市社会福祉協議会、地域包括支援センター、URコミュニティ：地域の声を伝え、販売場所の調整等を実施
 - ② 支援実施班：ならコーポ、セブンイレブン、近商ストア（とくしま）、ダイエー、関西スーパー（とくしま）：買い物支援サービス提供
 - ③ 広報班：奈良市：連絡調整、広報宣伝等を実施
 - ネットワークでは、定例会を2か月に一回実施し、市内で買い物に困っている方の情報を共有し、地域に合わせた解決方法を調整、話し合い※地域におけるニーズ調査（アンケート）を定型化とともに、相談も受け付け
 - 現在、移動販車13台が、150か所+aの販売拠点を設け、移動販売場所・スケジュールを市のHPで公開
 - **市が立ち上げたプラットフォームにおいて、民間リソースと地域ニーズを効率的、効果的にマッチングすることで、公費を投入することなく、持続的なサービス提供を実現** ※市の福祉部門ではなく、産業部門が担うことで、民間の事業ベースでの取組を推進

<市民や移住希望者からの悩み・相談・要望等>

- ✓ 近隣のスーパーが閉店してしまった。日常生活に必要な食料品や日用品の購入に困っている。駅、バス停までの距離も遠い。
- ✓ 高齢になり、車の免許を返納してしまったし、坂が多いので、重い物が持てない。体力的に買い物に行くのが厳しいので、家族の協力がないと買い物ができない。
- ✓ 好みの商品を取り扱う販売業者や買い物する曜日や時間帯を選べると、便利だし楽しみも増える。



奈良市買い物支援ネットワークの役割と構成員

メンバーや市役所内の調整を行い、ネットワークの宣伝・周知やメンバー加入の声かけを行います
・奈良市



出展：内閣官房・内閣府総合サイト

共創モデル | どんどん市場(一般社団法人よしの)

一般社団法人よしの

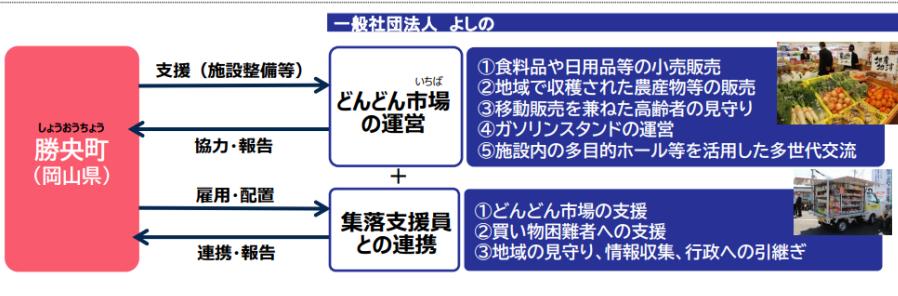
地域の小さな拠点施設『どんどん市場』の運営



事業・サービスのポイント

- ガソリンスタンドを含む小売店舗の運営
- 移動販売車を活用した買い物支援及び地域の見守り活動

事業・サービスの概要



一般社団法人よしの

事業・サービスが買物困難者の課題をどのように解決するか

小さな拠点

地域住民で構成する「一般社団法人よしの」が運営する『どんどん市場』では、地元農産物や食料品、生活必需品を扱う小売店舗のほか、ガソリンスタンドを運営。

店舗には地域の住民たちが自由に使えるコミュニティスペースやイートインコーナーを備え、さらに軽自動車を活用した移動販売を実施している。

多様な支援 安心感も提供

『どんどん市場』では小売店舗のほか、移動販売サービスを併せて展開することで、車を持たない高齢者や外出が困難な住民に対する買物支援を強化。さらに、販売スタッフには町が雇用する「集落支援員」を充てることで、買物困難者のみならず、孤立・孤独している人や地域の異常を発見・報告できる体制が整えられている。

さらに店舗にはコミュニティスペースを併設。地域の集いの場として開放し、住民や子どもたちがいつでも立ち寄ることのできる居場所として、地域への安心感も提供している。



連絡先

連絡先 : どんどん市場 0868-38-0111

出展：経済産業省「買物困難者対策に資する新たな流通事業コンテスト事例集」

共創モデル | ちっこいきいき宅配チャレンジ会(任意団体)

ちっこいきいき宅配チャレンジ会（任意団体）

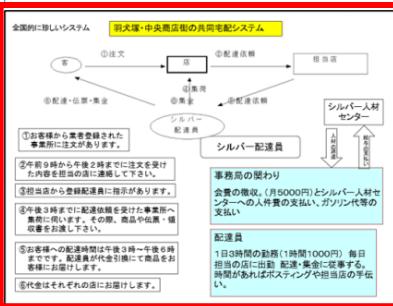


事業・サービスのポイント

事業・サービスのポイント

- 事業の経営的な事務は筑後商工会議所が担当し、配達員の給与及び車両代は月額5000円×20店舗の負担金で賄うシステムである。本事業の特徴は①事務局を持たないためローコストで運営が出来ている。②店舗と顧客が直接電話で注文を受けるので、お客様にとって品物違いが無くなる。③店舗にとって、直接お客様からの注文を受けるので、安心して宅配事業を進められる。④カタログなどの印刷費は地域の医療機関や事業者などからの広告として寄付していただいている。などの特徴があり、20年続いた要因と考えている。

事業・サービスの概要



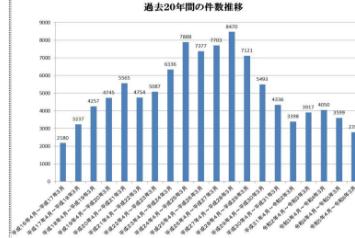
ちごいきいき宅配事業は平成16年に筑後市羽犬塚商店街と中央商店街の活性化を目的に開始した。商圏内の高齢化が進み、日ごろの会話からお年寄りから貰う物にかながけない声があり、買い物難民が増えていることを憂慮した両商店街の有志20店がそれぞれ月額5000円を負担し、地域のシルバー人材センターから配達員を派遣して貰い顧客の自宅まで無料宅配を始めた。事務局は筑後商工会議所が担当している。

当宅配事業の特徴はお客様が午前中に直接店舗に電話して注文し、参加店舗は取り組み役の担当店に配達があることを知らせ、配達員は担当店に出向き、配達内容を把握し該当店舗で商品と配達先を確認し、顧客の自宅まで配達し、料金を該当店舗に清算するシステムであり、現在20年目を迎えております。

また、費用がかさむカタログ等については地域の医療機関等から協力をいただき、筑後市内に配布している。

ちっこいきいき宅配チャレンジ会（任意団体）

事業・サービスが買物困難者の課題をどのように解決するか



連絡先

HP URL : <https://www.chikugo.or.jp/joho/1178>
連絡先 : 0942-52-3121 (筑後商工会議所)

当宅配システムは平成16年当時に商店街共同宅配事業が各地で行われていたが、①事務局員の経費が負担。②事務局員が注文者から受けた品目をイメージできず、届けた品物が違うことが多い。などの課題が山積し、ほとんどが休止または解散となつた。

当宅配システムは上記の歴史の原因を排除し、①前回の様に注文者は直接店舗と電話でやりとしますために、例えば「刺身」の注文としても、「今日のお勧めは鰯のひのきがあるから」と店主と十分打ち合はせたところでの配達であるのに「品物の相違」ということが発生しない。②また、店側にしても、いつもの得意様から直接の電話であるので、事務員を介さないため、「他店にお客が来られるのではないか」という危惧がなく、顧客サービスとして積極的に宅配事業を進められる。③また、基本的に日常の配達は注文を受けた店舗が商店街内の担当店に「今日は配達がある」と連絡をするだけで済み、会計等の事務は商工会議所が担当することで全体のコストを下げている。④配達員を筑後市のシルバー人材センターに依頼しているので、安定した人材が確保できている。⑤費用の掛かるカラオケ等については筑後市内の医療機関の宣伝を入れることで寄付をいただくことで事業の収支バランスをとっている。⑥参加店の結束が固い。

こうした独創性や革新性のもとで20年継続して運営できている。

「買物困難者対策に資する新たな流通事業コンテスト事例集」

共創モデル | このまち市場(トヨタ・コニック・プロ株式会社)

トヨタ・コニック・プロ株式会社

地域共創型プラットフォーム このまち市場

～地域の力で持続可能な移動スーパー2.0を生み出す仕組み～



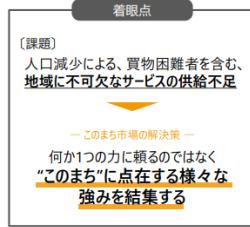
事業・サービスのポイント

“このまちを愛する”という地域に共通する想いで、まちに点在する事業者の資産（強み）を繋ぎ合わせる事で、それぞれの事業活動を通じて、日本全国の地域課題を地域の力で解決していく社会機能を生み出す。

事業・サービスの概要

地域共創型で課題を解決し、共生社会を生み出すプラットフォーム

“移動スーパー2.0”で、地域の幸せ度向上と雇用創出に貢献



トヨタ・コニック・プロ株式会社

事業・サービスが買物困難者の課題をどのように解決するか

移動スーパーの“3つのアップデート”で、
持続可能で、誰もが住み続けられるまちづくりに貢献したい。

1 しくみの進化

個人戦だった移動スーパーを、チーム戦へ



移動スーパーに必要なピースを、それぞれに強みのある地域企業/団体が出来しあう共創型にする事で、リスクを分散し、持続可能性の高い強みな仕組みに。

2 車両の進化

今と未来の現場課題を的確に解決



冷蔵庫故障による稼働ロス
燃料コストの高騰
トヨタGの技術で
解決

3 拡張性の進化

移動スーパーに留まらない生活インフラへ



トヨタG、電通Gの幅広いネットワークを活用し
移動スーパーによって生まれるモビリティネットワーク
に今後新しい価値を付加していく。

連絡先

HP URL : <https://konomachi-ichiba.studio.site/>
連絡先 : トヨタ・コニック・プロ株式会社 このまち市場PJ (konomachi-ichiba@toyotaconiq.co.jp)

出展：経済産業省「買物困難者対策に資する新たな流通事業コンテスト事例集」

本日ご紹介する先行事例

①

「共創モデル」事例

②

買い物の楽しさを提供する買い物サービス 事例

③

先進技術活用 事例

買い物の楽しさ | S_mart(Int mart design株式会社)

int mart design株式会社

ご近所デジタルディスプレイ商店 「S_mart（エス_マート）」

int mart design



事業・サービスのポイント

75インチのデジタルディスプレイにさまざまな商品を実物大表示で再現した売場で、手軽にお買い物が楽しめる受注端末システム。省スペース設置、在庫管理不要など、運営面でのリソース不足を解決しながら、楽しいお買い物を提供します。

事業・サービスの概要

動作紹介

QRコード

横幅: 106cm

奥行: 63cm

高さ: 180cm



省スペースで
出店・設置が可能

品出し陳列や在庫管理不要
人的コストの効率化

書籍・家電・通販商品も！
取扱商材は無限大

デジタルサイネージとして
地域の情報発信に

- ① 来店・注文 > ② 決済・配送先登録 > ③ 退店 > ④ 受取



int mart design株式会社

事業・サービスが買物困難者の課題をどのように解決するか

販売内容・決済・配送方法などを自由にカスタマイズできるのがS_martの強み。
地元の企業や自治体とともに、それぞれの課題に合わせた運用を構築することで、
持続可能な取り組みとして展開していきます。



事例①：ドラッグストア in 中山間地域モバイルショップ

自治体・近隣のドラッグストアとともに展開。

- * 時期：24年2月～
- * 地域：浜松市天竜区水窪町
- * 設置：モバイルサポートショップ
- * 商品：OTC薬など約200SKU
- * 対象：町内1600名
- * 月販：機密



事例②：ミニスーパー in 八王子UR団地

地元のスーパーの支店としてUR団地にS_martを展開。

- * 時期：21年9月～12月
- * 地域：東京都八王子市
- * 設置：UR団地 集会所
- * 営業：毎日9:00～13:00
- * 商品：生鮮三品 & 食品400SKU
- * 対象：60～80代高齢者
- * 月販：約50万円



実証実験動画
放映中！

連絡先

HP URL : <https://www.smart-retail.biz/>
連絡先 : 〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3 平和不動産日本橋ビル5F
担当 : 間瀬 TEL : 080-5978-1548 Email : mase.a@intmart.jp

出展：経済産業省「買物困難者対策に資する新たな流通事業コンテスト事例集」

買い物の楽しさ | RemoPick® (TOPPAN株式会社)

⑦遠隔カメラ
買物支援

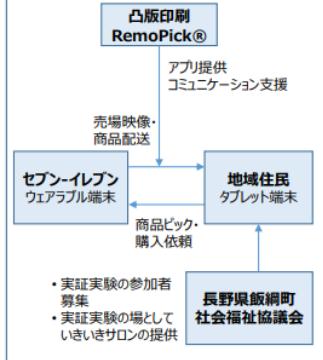
凸版印刷株式会社による 「RemoPick®」 実証実験



概要

- RemoPick®はスマートグラスやタブレットなどを用いて遠隔地をリアルタイムで繋ぎ、よりスムーズなコミュニケーションを可能とする次世代サービス
- RemoPick®を買物弱者支援に活用する実証実験として、長野県飯綱町、エリア内のセブン-イレブン1店舗、社会福祉法人飯綱町社会福祉協議会と協力し、実証実験を実施
 - 2022年6月、7月、10月、11月の週1回
 - 利用可能時間：10:00～、13:00～、14:00～
 - 配達時間：（1）正午（10:00注文のみ）、（2）16:00～18:00
- 実証実験は、地区の集会場（いきいきサロン）に集まつて購入と、個人宅での購入の2パターン実施したが、集会場に集まつての利用者が多く、個人宅での被験者はなかなか集まらなかった
- 宅配条件、1,000円（税抜）以上の商品の購入、宅配料 220円（税込）ただし、3,000円（税抜）以上の注文で宅配料無料

取組みイメージ



今後の展望

- 飯綱町では人口に対する小売店舗の数が少なく、高齢化も進んでおり、自治体としても買物課題への取り組みを重要視
- どういうスキームでやっていけば継続性が担保できるのかを検証するフェーズとして、次年度も飯綱町で実証実験を行っていく予定
- 今回の実証実験で、スマートグラスを装着する店員、商品ピック、配送などの負担が大きかった為、その役割を第三者委託するスキームでの検証を予定

実証実験開始時の課題・解決法

- 実証実験で使った技術がウェアラブル端末ということもあり、店員が装着し、買物をする高齢者にマンツーマンで対応する必要がある為、店舗側、自宅側双方の手間や人件費負担が大きい
- 今回、持参したタブレット端末でブラウザにアクセスしてもらったが、高齢者ということもあり、終始横で補助員（凸版印刷）がついて実施する必要があった

事業化のポイント

- いきいきサロンに集まつてもらひ購入してもらった方が配送先が一か所で済むため、店舗側としても効率がよく、負担が軽減されるとの声があつた
- 幅広い商品を利用者が購入できるようにすべく、いかに町内の協力店舗を増やすことができるかが利用者にとってのメリットになる

事業化の課題

- RemoPick®自体はアプリの為、スマートグラスは複数メーカーの端末でも使用できるが、現状スマートグラスの相場が1台30万円程度と非常に高額、初期投資の費用としても負担が大きい為、導入にあたってネックになる可能性がある（スマートグラスの他に、ポケットWi-Fiなどの通信回線、タブレット端末なども必要となる）
- 買い物代行の予約の仕方、店舗側との情報の共有の仕方などを効率化する必要がある
- 今回は店側にて店員のマンツーマン対応、配送、決済まで実施、凸版印刷側で自宅側のサポートを実施したが、どの役割をどのプレイヤーが担うべきか、いかに負担を軽くし、持続可能なスキームを各プレイヤーと組めるかが事業化する上では課題となる

取組みの特徴・成果

- 飯綱町エリアのセブン-イレブン（1店舗）の協力のもと、その店舗限定で実証実験を実施
- 原則交通手段を持たない町内在住の高齢者で、事前登録した方及び事前予約した団体が対象
- 店員がウェアラブル端末を装着し、その店員の目線にあるものを買物する側がタブレットで映像として確認しながら、購入したい商品や見たい商品を店員に伝えて買物をする
 - ① 高齢者がスマートグラスの映像に対して、店員に伝達
 - ② 店員が伝えられた商品をピックアップ
 - ③ 購入者の自宅、又は集まつた場（いきいきサロン）にて購入商品を配達
 - ④ 商品と引き換えに代金受領
- 購入した高齢者からは、自分で実際に目で見て買物できるのが良いと、概ね満足してもらえた

凸版印刷株式会社
026-219-2229

〒389-1203
長野県上水内郡飯綱町大学赤塙2489
いいなコネクトEAST ICT KÔBÔ
<https://solution.toppan.co.jp/secure/service/remopick.html>

出展：経済産業省「買物弱者支援事業者事例集」

本日ご紹介する先行事例

①

「共創モデル」事例

②

買い物の楽しさを提供する買い物サービス 事例

③

先進技術活用 事例

先進技術活用 | 自動配送ロボット(トヨタ・コニック・プロ株式会社)

岡山県初！自動配送ロボット（中速・中型）が公道を走行～次世代技術を活用し、過疎地において持続可能な買い物支援事業を検証～

トヨタ・コニック・プロ株式会社（本社：東京都千代田区神田淡路町2-101 ワテラスター、代表取締役社長：武田 淳一郎、以下「トヨタ・コニック・プロ」）は、経済産業省の「令和6年度補正予算 持続可能な物流を支える物流効率化実証事業」のうち『②買物困難者対策事業：より配送能力の高い自動配送ロボットを活用した実証事業』に採択され、2025年11月19日(水)9:00～10:30に岡山県の中山間地域において、2種類の自動配送ロボットを使用した公道走行実証実験を行います。



■公道走行実験の概要

目的	宅配サービスにおいて、自動配送ロボットを導入する際の技術的課題および環境的課題、2種類のロボットの適材適所、事業採算ラインの検証	
日時	2025年11月19日(水) 9:00～10:30	
場所	岡山県勝田郡勝央町「どんどん市場（※）」近郊	
内容	<ul style="list-style-type: none">トヨタ自動車株式会社が開発中の低速小型、中速中型の2種類の自動配送ロボットを使用どんどん市場からの商品宅配および農家からの仕入れ運搬を実施（公道を約1.6km走行）	
自動配送ロボット概要	<低速・小型ロボット> 	<中速・中型ロボット> 
サイズ	全長 950 × 全幅 580 × 全高 830mm	全長 1,510 × 全幅 1,054 × 全高 920mm
最高速度	6km/h	15km/h（本実証実験では8km/hで走行）
最大積載量	20kg	200kg

先進技術活用 | 無人移動販売ロボット(京セラコミュニケーションシステム株式会社)

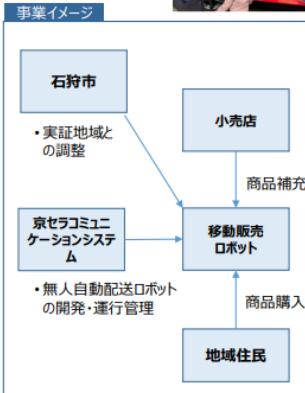
⑥ロボット
買物支援

京セラコミュニケーションシステム株式会社
による

「無人移動販売ロボット」 実証実験

概要

- 石狩市緑苑台東地区内での実証実験
 - 約38ha（東京ドーム約8個分）の区域
 - 走行路の総延長：5km
 - 世帯数：約1,100世帯
 - 個人向け配送ロボット1台と移動販売ロボット1台の計2台が走行
 - 移動販売ロボットは、定期巡回運航で、停車場所は5か所
- 決済手段は、現金以外の電子マネー等に対応
- 実際に購入する際、事前登録の必要はない。その場で購入可能



今後の展望

- 自動走行ロボットを活用し、ロボットの研究開発やサービスの実証実験を通じて、社会課題を解決することを目指す。今後も地方自治体や協力企業と連携し、各地域のニーズや課題に即したサービスの実証を行い、自動走行ロボットの社会実装に向けて継続的に取り組んでいく
- 事業スキームは検討中

実証実験の課題・解決法

- LINE登録いただいた近く住民の方には、LINEで時刻表や、何が販売されているかなどを通知した
- 公道（車道）実証のための許可は、北海道運輸局から保安基準緩和認定を受け、北海道警察から道路使用許可を取得し、石狩市の協力を得て実施

事業化のポイント

- 社会ニーズはある。地域に受け入れられている
- 実証実験した自動走行ロボットは、中型、中速ロボット。実証実験には地元の協力が必要
- 団地などの買物弱者にも無人移動販売のニーズがあると思われる

事業化の課題

- 人により提供されていたサービスのロボット活用を前提としたリデザイン
- 持続可能な社会的価値の創出、経済合理性の確保
- ロボットによるサービス提供を前提とした空間や道路の整備
- 車道を走行するロボット（無人低速自動車）の走行を想定した制度整備

実証実験の特徴・成果

- 移動販売での購入方法
 - ① ロボットから購入した商品を取り出す
 - ② 搭載されたリーダーで商品情報を読み取る
 - ③ 電子マネー等で決済
- 食べ物や飲み物を販売した
- 2022年11月17日～25日に実証実験を行った。地域の方の認知もあり、幅広い世代の多くの方に利用頂いた（詳しい数値は非公表）

京セラコミュニケーションシステム
株式会社
三田事業所

〒108-8605
東京都港区三田3-11-34
<https://www.kccs.co.jp/contents/mobility/>

出展：経済産業省「買物弱者支援事業者事例集」

先進技術活用 | ドローン・UGV配送(株式会社eロボティクス)

株式会社eロボティクス

買物困難者対策に資する新たな流通事業として
南会津町役場↔NPO法人あたご間を活用したドローンやUGV
による配送事業



事業・サービスのポイント

- 地元企業と行政が連係して事業の運営を行い、買物困難者に資する新たな流通サービスを展開する。

事業・サービスの概要

福島県の南西部に位置する南会津町は、標高1,000～2,000m級の山々に囲まれ、面積の約9割が森林となっている。夏季は比較的過ごしやすい気候だが、冬季は日本海型気候に属し、厳しい寒さと降雪が多く、住民の生活に著しい支障が生じる「特別豪雪地帯」に指定されている。また「過疎地域」にも指定されており、地理的・自然的な要因から過疎化・高齢化が福島県内の他地域よりも進んでいる背景がある。

少子高齢化による生産労働人口の減少や、大雪や自然灾害による道路の封鎖、孤立した集落による買物困難など様々な地域・社会課題を、AIやファーマルロボティクス技術を活用し解決を図るため、南会津町で買物困難者対策に資する新たな流通事業として、ドローンやUGVによる配送事業を展開する。

平常時から配送することで、災害時でも対応ができるとなる。



株式会社eロボティクス

事業・サービスが買物困難者の課題をどのように解決するか

【課題】

- ・南会津町役場内にある「ひかりのひろばカフェ」から「あたご共同作業所」まで片道5km の道のりを車で約15 分かけて配達しているが、厳冬期に積雪が有れば2倍の約30分はかかる。



【解決策】

- ・ドローンを用いた配達では、直線距離3.3km を6 分で配達できる。



【付帯効果】

- ・南会津町役場周辺には、住宅地や小・中学校などの公共施設が多くあり、ドローンで配達された商品をUGV(地上搬送ロボット)に積替えて、役場近隣住民や買物困難者への移動販売も行う。
- ・NPO 法人あたごは、南会津町と連係して障害者雇用を目的としたドローン配達の運営・オペレーションが出来るように、旧檜沢中学校を利用したドローンのパイロットや補助者の育成など、教育訓練を行う事も検討している。

連絡先

HP URL : <https://www.e-robo.co.jp>

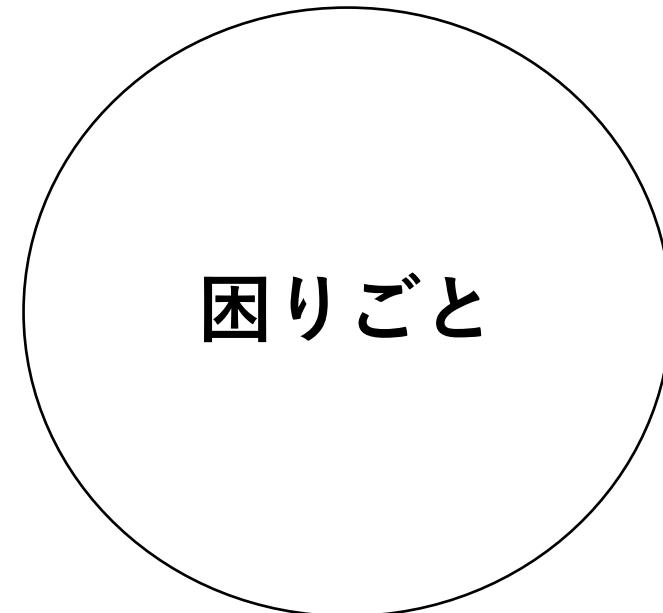
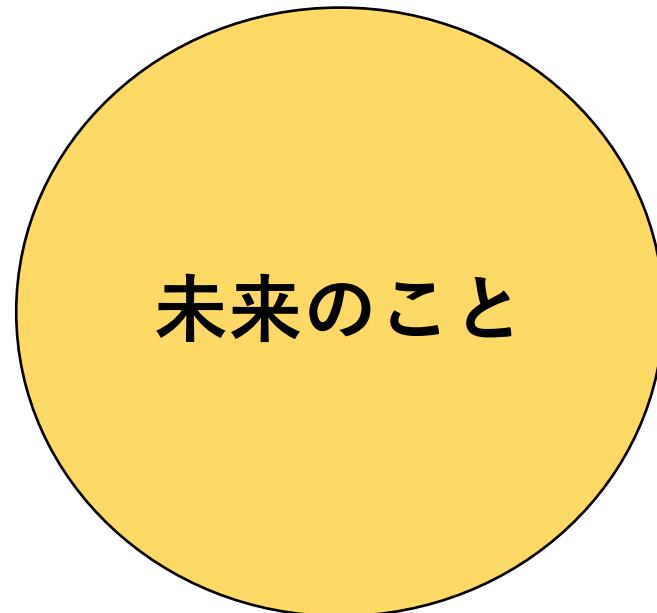
連絡先 : TEL 0244-26-7175

出展：経済産業省「買物困難者対策に資する新たな流通事業コンテスト事例集」

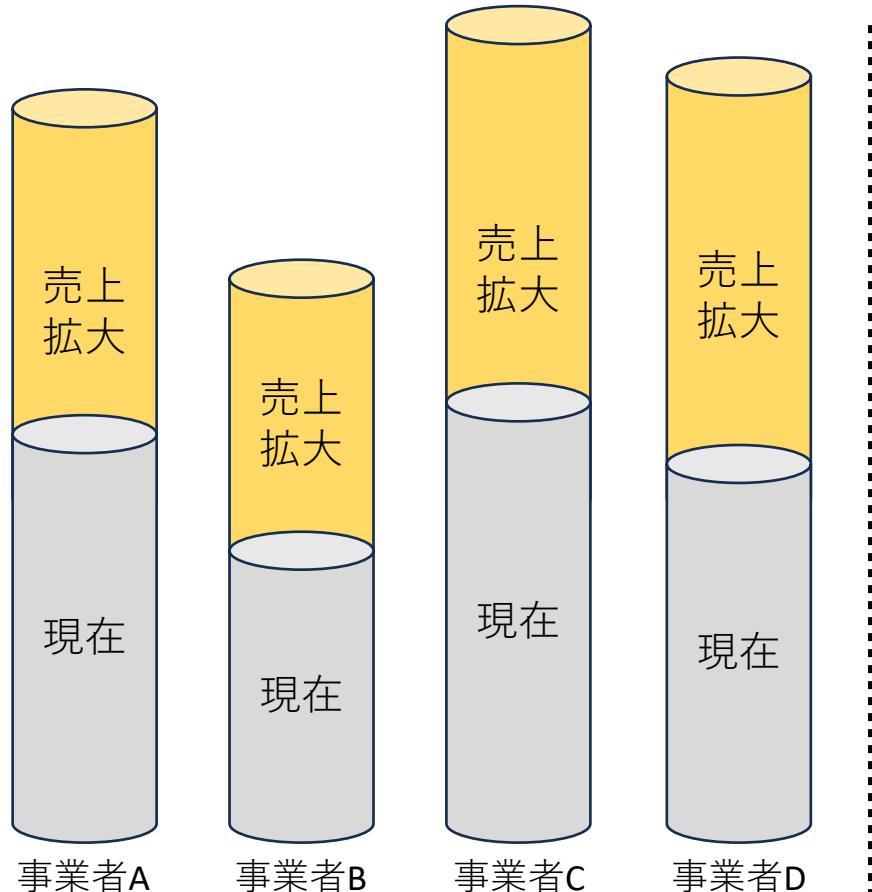


- 1) データ活用の重要性について
- 2) データで見る新上五島町の買い物課題
- 3) 新上五島町の買い物サービスの現状
- 4) 買い物サービスの先行事例共有
- 5) 新上五島町の買い物サービスの
るべき姿についてディスカッション

新上五島町の買い物サービスのあるべき姿



新上五島町の買い物サービスの未来

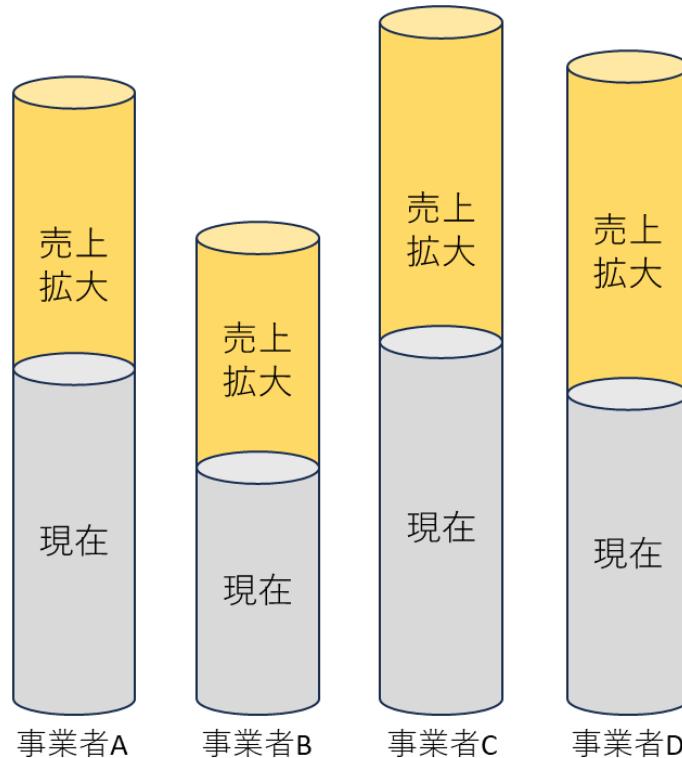


未来理想①

各事業者がそれぞれ単独で
買い物サービス・他事業を拡大し、
持続可能な買い物サービスを提供する

新上五島町の買い物サービスの未来

未来理想①：単独での事業拡大



■利用者の増加

- ⇒もっと多くの人に使ってもらうにはどうしたらいい？
- ⇒どんな人なら使ってくれそう？
- ⇒どんなシーンなら使ってくれそう？

■利益の増加

- ⇒もっと買ってもらうにはどうしたらいい？
- ⇒かかっているコストを抑える方法はある？

■顧客満足度の向上

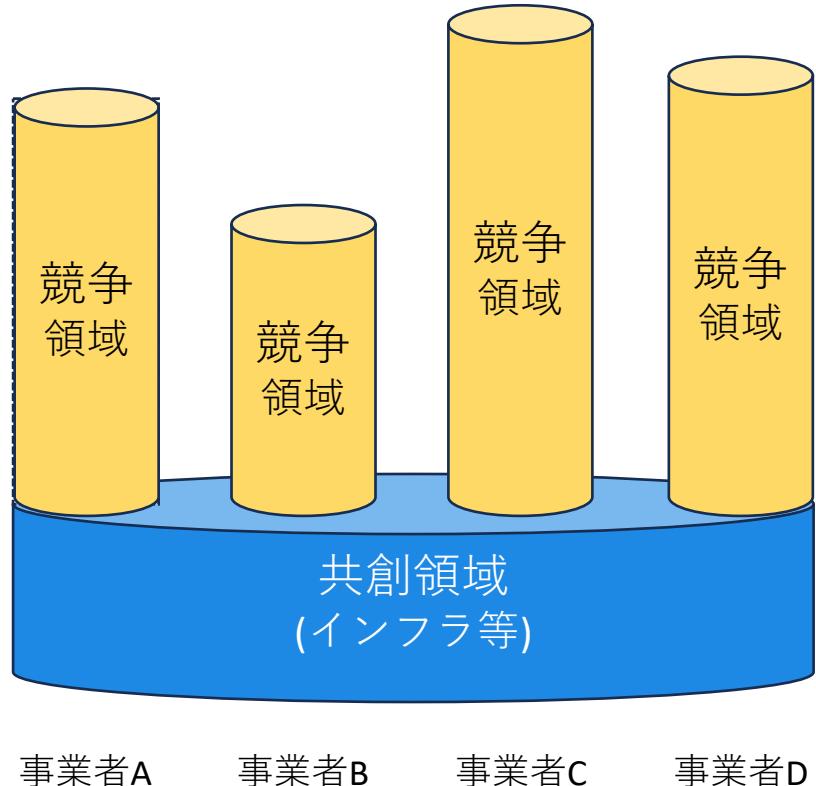
- ⇒お客様にもっと満足してもらうためにはどうすればよい？

ワークシート

持続可能なサービスを提供するためにできそうなことは？

先ほどのワークの中で、
これがやれるといいけど、
「ハードル高いな...」というアイデアは
ありませんでしたか？

新上五島町の買い物サービスの未来

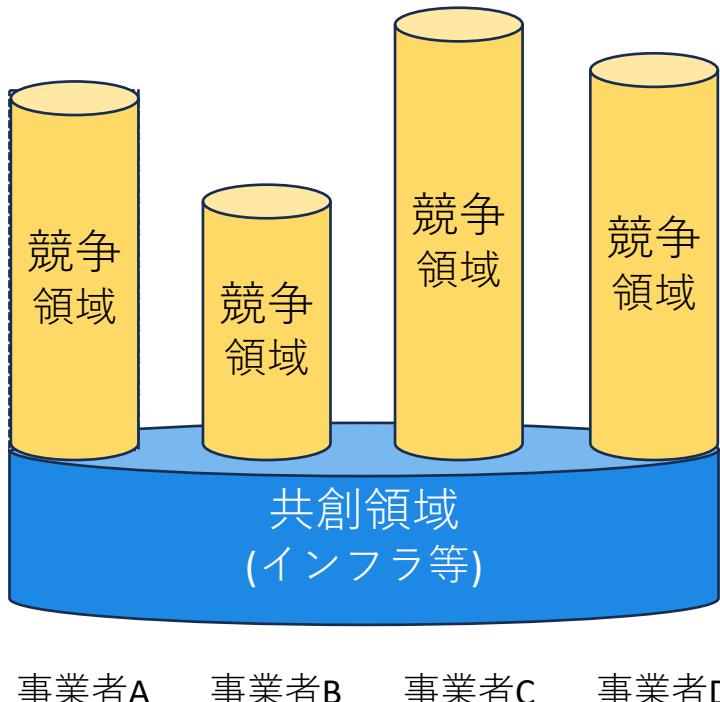


未来理想②

多くの事業者に共通する共創領域は
事業者が連携し負担を分散で
事業者の負担を下げ、
得られたリソースを競争領域にあて、
持続可能な買い物サービスを提供する。

新上五島町の買い物サービスの未来

未来理想②：共創・競争



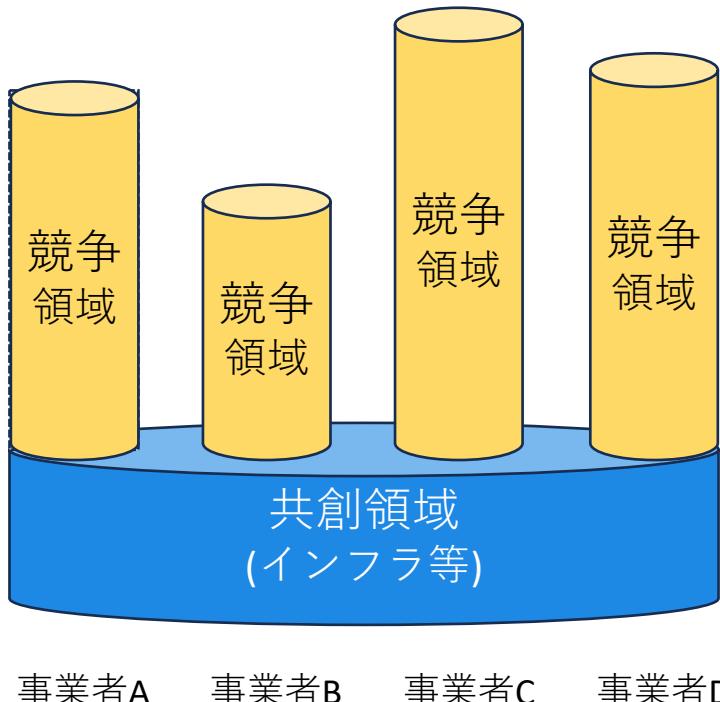
- 例えば、何は共創領域にできる？
- 例えば、何は競争領域にするべき？
- 仮にこのモデルを新上五島町でやるとき、障壁になりそうなことは？
- 一番小さく共創領域を作るとしたら何？

ワークシート

共創モデルを新上五島町でやるとすると？

新上五島町の買い物サービスの未来

未来理想②：共創・競争



■今まで考えたことの中で、
行政に支援してもらえると嬉しいことはある？

ワークシート

行政にサポートしてほしいことは？

今日のワークショップの感想を
おねがいします

